

### 基本情報



【年齢】  
29歳  
【出身地】  
愛媛県松山市  
【転出元】  
愛媛県松山市  
【前職】  
株式会社ぎょうせい  
【活動時期】  
R3.5～R6.4  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

鹿児島県の離島で一度地域おこし協力隊を経験しておりました。その時は島に自生している果物を使ったエッセンシャルオイルを作り、ブランド化して販売しておりました。また、地域コミュニティ形成をするため、月に一度料理教室を開き、地域住民との交流を図っておりました。

最終年度はレストランの指定管理を請け、エッセンシャルオイルなど地域商材を利用した商品開発と地元雇用創出をする仕組みを作り事業化を行いました。

その経験を活かすために自治体コンサルに入社しましたが、個人で行っていたほうが自治体のためになると再度思いもう一度地域おこし協力隊として活動をしようと思い応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

ノウハウがないと取り組めないような活動内容の隊員と連携を図り、事業化までの「実働を伴った支援」を行っております。(※活動内容①参照)迷っていると任期はすぐに終わってしまうので、具体的に地元商材を使った商品開発を行いたい。ではなく、〇〇を使うならこういった商品がいいよ。といった抽象度をあげ、事業化までのフローを確認しながら支援を行っております。

また、この活動は自治体を越えた「愛媛県」という枠で行っているため現役協力隊の横の連携を強めることが期待できます。令和8年度までに協力隊を10000人まで増やすと総務省も掲げているので、活動に迷いが生まれる隊員が多くなることも予想されます。そういった方を支援が出来る機関を設立したいと考えております。

### 活動内容

#### ①実働を伴った支援

マルシェに出店したいがレイアウトや接客をしたことがないという隊員がいらっしまったので、現地にて商品の配置や接客のアドバイスをを行い、マルシェ終了後にレイアウトや接客のマニュアルを作成しお渡しをしました。

他にはエッセンシャルオイルを抽出したいという隊員には機材導入から商品制作、実地販売などの支援や協力隊OBの方から料理の提供メニューを開発してくださいなど、ストーリー作成から出口戦略を検討するところまで行っております。



#### ②鬼北町にある高校の生徒と商品開発

鬼北町には北宇和高校という県立高校があり、そちらの生徒と今特産品である「キジ」を使った商品開発を行っております。現在は鬼の金棒をモチーフとしたカレーパンを開発しております。私がレストランで使っていたレシピをベースに地元食材の味噌を入れてオリジナリティあふれるカレーパンに仕上げています。

今後は地元事業者にレシピをお渡しをして継続的に商品を製造・販売を行ってもらおうと検討しております。



#### ③企業連携事業

宇和島市という真珠で有名な自治体があり、そちらの商品にならない小粒で変形している真珠の活用方法を起業案件として請けております。

また、別の自治体からはふるさと納税に向けた完熟ジュースに付加価値をかけたいといった起業案件をほかの現役協力隊に仕事を割り振りマネタイズする取り組みを作っております。

#### ④コワーキングスペース運営

2022年5月に古民家を改修したコワーキングスペースがオープンし、そちらで新しく事業の創生と交流人口拡大を軸に運営を行っております。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

[facebook](#)

[Instagram](#)

